

戸塚 文彦 議員

補助事業の見直しは

問 補助費等にかかる経常収支比率が類似団体に比べて高い。平成28年度目標は2000万円である。算出根拠は。

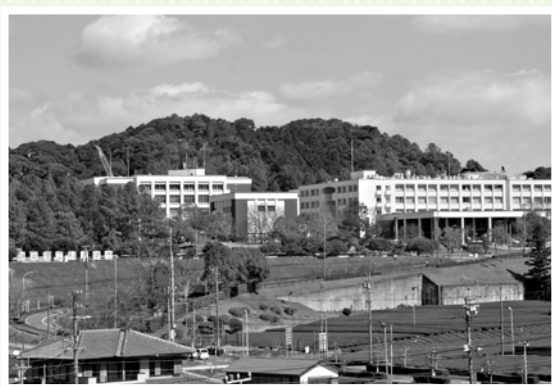
答 前回、平成25年度の見直し時の効果額を最低限の目標に定めたが、財政の健全化に向けてさらなる削減も必要と考えている。

静岡理工科大学との

連携強化は

問 大学の地域貢献や産学官の連携強化が求められている。その取り組みは。

答 「お理工塾」や「地域学講座」等を事業化している。今後、ラクビーワールドカップ等を見据えた、市民の英語力向上に向けた取り組み等、地域課題の解決や地域活動を支援していきたい。



産学官連携が期待される静岡理工科大学

日本版CCRCの推進を

問 高齢者と若者など多世代が同じタウンに共存するコミュニティ（CCRC）が、地方創生の切り札と期待されているが、研究を提言する。

答 日本版CCRCの推進については、引き続き国等の動向を注視しつつ、研究していきたい。

田中 克周 議員

求められるトイレ環境の整備

問 市役所本館1階のトイレは洋式が1基しかなく不便である。経年劣化も進みリニューアルの時期ではないか。

答 現状、女性用、男性用とも洋式1基、和式が2基設置されている。既に30年経過し、設備更新の必要もあるため、市民の要望等を踏まえ、洋式トイレに変更していきたい。

震災時の簡易トイレからの汚物

問 について、その処理のルール化及び市の指導はどうかっているか。

答 市が本来の可燃ごみとは区別して収集し、焼却処分する。収集場所はブルーシート等で覆い、衛生面に配慮して管理する。平成28年度に災害廃棄物処理計画を策定し、汚物の取り扱いについて課題や市の考え方を整理し、必要な対策を定めていきたい。

ふるさと納税の積極的な推進を

問 焼津市では約34億円のふるさと納税が寄せられた。税外収入を稼ぐ手段として、積極的に推進すべきでは。

答 平成27年度のふるさと納税額は約2600万円。新年度から返礼品を充実させ、専用サイトからの申し込みとクレジット納付制度の導入により寄付額の増加を図りたい。



ふるさと納税の返礼品の一例